

小麦情報

秋田地域振興局 農林部 農業振興普及課

No.2

Tel. 018-860-3410

Fax. 018-860-3834

適期収穫により高品質な小麦を生産しましょう！

1 気象経過(令和7年5月1日～6月16日)

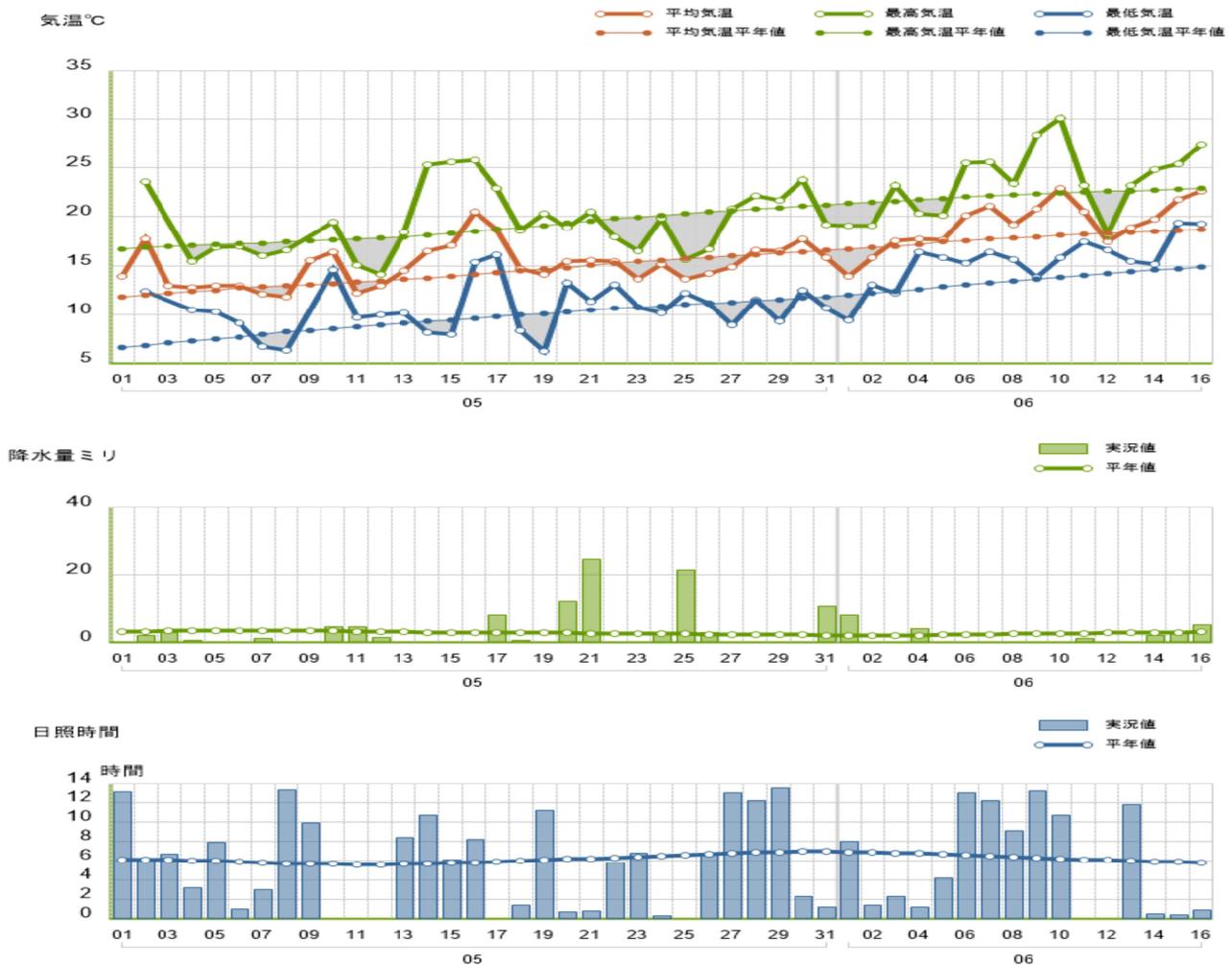


図1 日毎の気象経過(2025年5月1日～6月16日)

〈概況〉

気温は5月5半旬～6月1半旬にかけて概ね低く推移しましたが、それ以降は平年並～高く推移しています。また、6月1～3半旬の降水量は少なく推移していますが、東北地方の梅雨入りは平年より1日早い6月14日とみられると仙台管区气象台から発表がありました。加えて、6月12日に同气象台から発表された東北地方の1か月予報では、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多い見込みとなっています。今後の気象経過や子実水分に注意し、適期収穫を徹底してください。

2 令和7年産小麦の生育状況(R7年6月16日現在)

- ・ 6月16日の生育調査（品種：銀河のちから）における稈長は89.6cm（平年比107%、前年比112%）と長く、穂数は703本/m²（平年比132%、前年比134%）と多く、穂長は7.6cm（平年比93%、前年比94%）と短くなっています。
- ・ 今年の出穂期は平年並の5月10日頃で、その後の気温も概ね平年並となったため、成熟期は平年並の6月25日頃になると予想されます。

表1 6月16日の生育調査結果（「銀河のちから」4地点平均）

	草丈	茎数	穂長
	(cm)	(本/m ²)	(cm)
令和7年産	89.6	703	7.6
平年比 (%)	107	132	93
前年比 (%)	112	134	94

3 異形株・大型雑草の抜き取りと刈り分けの実施

収穫前に再度、ほ場内の異形株や大型雑草の抜き取りを実施してください。また、収穫の際は、倒伏している箇所での刈り分けを実施し、品質低下を防ぎましょう。

また、赤かび病の罹病株は早めに抜き取りし、収穫時は刈り分けをしてください。

4 適期収穫で品質向上

適期刈り取りが麦の品質を大きく左右します。コンバイン収穫に適した子実水分(30%以下)に達するには、成熟期からさらに3～5日程度を要します。好天が続く日を見計らい、適期収穫に努めましょう。

表2 子実水分の判定方法と収穫体系

子実水分	子実の簡易判定	時期の目安	コンバインの種類	
			自脱型	普通型
37～35%	指でやっつつぶれる（固いゴム状）～指の腹でつぶれない（ロウ状）	成熟期前後	×～△	○
30%	子実内部が硬いロウ状になり爪でパカッと割れる	成熟期後～3日後	○	
25%	爪でなんとか割れる固さ	成熟期3～5日後		